



株式会社ハイパーボックス
おまかせサーバサービス

Webサービスご利用マニュアル

この度は弊社サービスをご利用頂き、誠にありがとうございます。このマニュアルには Web サービスのご利用方法や注意事項を記載しております。また Web サービス用サーバの仕様につきましても記載しておりますので、あわせてご利用下さい。

サービスについてご不明な点がございましたら、おまかせサーバサービスセンタまで、お気軽にお問い合わせ下さい。

おまかせサーバサービスセンタお問い合わせ一覧	
Web サイト (会員専用ページ)	http://member.omakase.jp/
一般的なお問い合わせ	info@omakase.jp
技術的なお問い合わせ	tech@omakase.jp
登録に関するお問い合わせ	reg@omakase.jp
サービスセンタ 電話番号	03-5304-8163
サービスセンタ FAX 番号	03-5304-8162
書類送付先	〒160-0023 東京都新宿区西新宿 4-33-4 5F 株式会社ハイパーボックス おまかせサーバサービスセンタ宛

Webサービスマニュアル目次

■ サーバの仕様.....	3
◆ サーバOSについて	3
◆ Webアクセス方法.....	3
◆ ファイル名の指定がないアクセス.....	3
◆ サーバエラーの種類.....	4
◆ 利用可能なディスク容量.....	4
■ FTPサービスの仕様.....	6
◆ FTPログイン情報	6
◆ ディレクトリ構成.....	7
◆ Webアクセスログ	7
◆ FTPソフトウェア	8
◆ FTPアクセス制限方法.....	8
◆ FTPアクセス制限ファイルの無効化.....	10
■ アクセスカウンタの設置.....	11
◆ アクセスカウンタの機能.....	11
◆ アクセスカウンタ設置方法.....	11
◆ 日付/時刻表示の方法.....	12
◆ アクセスカウンタ利用上の注意.....	13
■ CGI(Perl)の動作環境	14
◆ CGIのご利用について	14
◆ メールフォームサービス.....	14

■ サーバの仕様

● サーバ OS について

Web サービス用サーバに採用している OS は Linux ベースの Turbo Linux Appliance Server2.0 となります。Web アプリケーションは Apache2 系です。

● Web アクセス方法

Web サービスでは、標準のホスト名として[www]にてサービスを提供しております。WWW ブラウザでアクセスする際には、[http://www.お客様ご利用ドメイン名/]となります。

http://www.お客様ご利用ドメイン名/

Web サービス用サーバにアップロードしたディレクトリやファイルは、上記 URL にてアクセスが可能となります。

● ファイル名の指定がないアクセス

URL が[/]で終わるアクセスのようにファイル名の指定がない場合、自動的に[index.html]を参照します。[index.html]が存在しない場合、以下のような順序でファイルを参照し、いずれも存在しなかった場合には 404 File Not Found エラーが発生します。

Directly Index	
優先順位	参照ファイル名
1	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ index.html
2	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ index.htm
3	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ index.shtml
4	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ home.html
5	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ home.shtml
6	http://www.お客様ご利用ドメイン名/ default.html
--	上記いずれのファイルも存在しない場合、404 File Not Found エラー

サーバは、大文字/小文字を区別しており、異なる文字列と認識します。例えば、[INDEX.HTML] や[Index.Html]は、[index.html]と同等ではありませんので、ご注意ください。

● サーバエラーの種類

アクセスしたディレクトリ/ファイルが存在しない、アクセス禁止設定になっている場合など、サーバはエラーを発生します。

サーバエラーの種類		
エラーコード	内容	対処方法
403 Forbidden	アクセスを禁止する状態(実行権限)に設定されています	実行権限を[644]にするなどの変更をして下さい
404 Not Found	アクセスしたファイルが見つかりません	アクセス先ファイル名の確認、またはアップロードして下さい
500 Internal Server Error	CGI のエラーが発生しています	弊社への申請確認、CGI の内容の確認を実施して下さい

エラーが発生した場合には、発生しているエラー内容をご参照の上、適切な対応を行って頂く必要があります。これらのエラーは、ご利用頂いているサーバ側での障害ではありません。

● 利用可能なディスク容量

Web サイトコンテンツデータは、利用可能ディスク容量以下である必要があります。利用可能ディスク容量は、ご契約頂いているプラン、オプションによって異なります。

利用可能ディスク容量(標準)	
ホスティングプラン	ディスク容量
ベーシック	200MB
セキュア	500MB(フリーCGI サービスとの合計)

利用可能ディスク容量を超過すると、新規ファイルをアップロード出来ない、上書きしたファイルがゼロクリアされるなどの予期せぬ不具合が発生致します。現在のサーバ上に存在するデータ量を確認されたい場合には、恐れ入りますが、都度、弊社までお問い合わせ下さい。

FTP ソフトによってはサーバ上に存在するファイルデータを計算出来る仕組みを持っています。この場合、計算内容や仕様によって、FTP ソフトの結果とサーバ側の実使用ディスク容量は異なることが多々あります。一般的に、FTP ソフトの計算結果の、1.2~1.5 倍程度の容量が、サーバ側の実使用ディスク容量となります。

Web ディスク容量の増設について、追加ディスクオプションにて承っております。現在の利用可能ディスク容量以上のデータ量がある場合には、追加ディスクオプションをご検討下さい。

■ FTP サービスの仕様

◆ FTP ログイン情報

Web サーバに HTML ファイルや画像ファイルをアップロードするためには、FTP クライアントソフト(以下、FTP ソフト)を使い、サーバにログインする必要があります。FTP ログインに必要な情報は、

【FTP ホスト名】(www.お客様ドメイン名)

【FTP ログイン名】

【FTP ログインユーザのパスワード】

となります。ご契約時の書類に上記情報が記載されておりますのでご確認下さい。外部業者の方にホームページ作成を依頼される際など、必要に応じて上記情報をお伝え頂くこととなりますが、ログイン情報の管理は厳重に行って下さい。

公開するファイルは、必ず[/web]にアップロードして下さい(ディレクトリ構成図をご参照下さい)。FTP ログイン後、ディレクトリを3階層上って頂いた[/]にある[web]ディレクトリとなります。

FTP では、アップロードの他に、データのダウンロードも可能です。サーバ上に存在するデータは、定期的にバックアップを必ず行って下さい。

FTP ソフトによっては、FTP ログイン時に指定されたディレクトリへ移動する機能を持っています。FTP ソフトによって機能の名称が異なりますが、ホストの初期フォルダ、ホスト開始フォルダ、保存ディレクトリなどと呼ばれています。この機能がある場合には、

`../../web`

と指定頂くことで、FTP ログイン時、自動的に[/web]に移動することが可能です。この機能については、お手持ちの FTP ソフトマニュアルをご参照下さい。

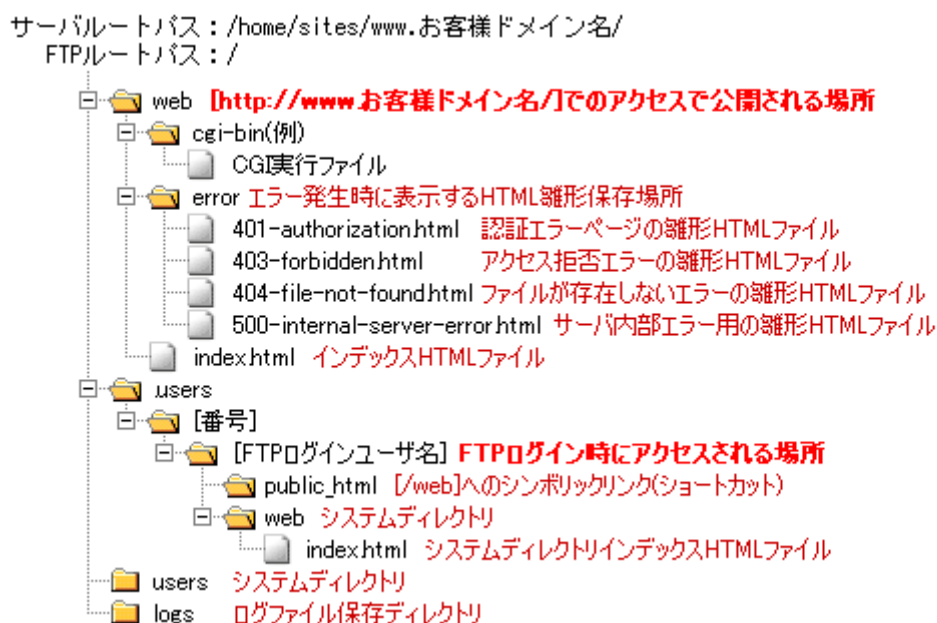
◆ ディレクトリ構成

ディレクトリとは、ファイルを分類・整理するための保管場所です。Microsoft Windows や、Apple Mac OS では、同様の概念をフォルダと呼びます。

サーバ内部のディレクトリ構成は下図のようになっております。これらは、FTP ソフトウェアでサーバにログインし、Web コンテンツファイルなどをアップロードする際や、管理運用に必要な情報となります。

サーバには初期状態で様々なディレクトリ/ファイルが存在し、役割があります。初期状態で存在するディレクトリは変更しないようご注意ください。

・ディレクトリ構成図



◆ Web アクセスログ

[/log]ディレクトリ配下には、[web.log]というファイル名にて、Web アクセスログが保管されております。必要に応じてFTP経由でダウンロード下さい。Webアクセスログファイルは、50MB~最大200MBまで保存され、gzip形式(web.log.[世代数].gz)にて過去4世代分が存在しております。

アクセスログに関しましては弊社サポート対象外となります。また、弊社都合により削除させて頂く場合もありますので、予めご了承下さい。

◆ FTP ソフトウェア

FTP ソフトとしては、FFFTP、NextFTP、FTP Explorer、Fetch などの他、IBM ホームページビルダー、Adobe Dreamweaver などの Web サイト構築ソフトにも FTP 機能があります。

弊社では、FTP ソフトを提供していませんので、別途ご用意下さい。FTP ソフトの使用方法につきましては、開発/販売元へお問い合わせ下さい。

◆ FTP アクセス制限方法

対象のディレクトリに “.ftppaccess” ファイルを設置し、制限することが出来ます。

“.ftppaccess” の設定については設定手順をご参考にして下さい。

FTP アクセス制限については弊社サポート対象外となりますのでご了承下さい。

※ 注意事項

- FTP アクセス制限はウェブサイトの運用に影響を及ぼす場合がございます。
- [.ftppaccess]は、設置したディレクトリ配下全てに有効となります。
仮に [/] (ルートディレクトリ) 内に設置した場合、ユーザ用のディレクトリも影響を受けます。
- 許可する IP アドレス/ホスト名を誤って設置すると FTP での操作 (リスト表示、PUT、GET) が出来なくなります。またセキュリティを損ねてしまう場合もございます。

【設定手順】

1. FTP アクセスを許可する IP アドレスやホスト名を確認します。
2. メモ帳などのテキストエディタを起動し、以下のフォーマットに従い、内容を記述して下さい。
Allow from { 接続元情報 }に許可する IP アドレスやホスト名などを記述していきます。
Allow from に続いて記述された接続元のみ FTP アクセスが許可されます。

【.ftppaccess フォーマット】

```
<Limit ALL>
    Order Allow, Deny
    Allow from { 接続元情報 }
    Deny from all
</Limit>
```


【Allow from { 接続元情報 }の記述 (例)】

Allow from **グローバル IP アドレス**

- ・グローバル IP アドレスから FTP アクセスを許可します。
接続元が固定グローバル IP アドレスの場合に有効です。

Allow from **.jp**

- ・[.jp]で終わるホスト名に対して、FTP アクセスを許可します。
日本国内の多くのプロバイダが許可されます。
一部の国内プロバイダは[.net]を使うこともありますのでご注意ください。

Allow from **.tokyo.isp.example.jp**

- ・[.tokyo.isp.example.jp]で終わるホスト名に対して、FTP アクセスを許可します。
同一プロバイダで特定の地域からのみ許可したい場合に有効です。

3. ファイル名を[ftppaccess.txt]として保存します。
4. 作成した[ftppaccess.txt]ファイルを FTP ソフトでサーバにアップロードします。
アップロード先は、制限したいディレクトリ配下とします。
5. アップロード先の[ftppaccess.txt]について[.ftppaccess]にファイル名を変更します。
以上で FTP アクセス制限は完了です。
FTP アクセス制限について動作確認を必ず行なうようにして下さい。

◆ FTP アクセス制限ファイルの無効化

“.ftppaccess” 設置後、FTP の操作が出来なくなった場合、許可する IP アドレスもしくはホスト名を誤って記述した可能性があります。

この場合、お客様側から[.ftppaccess]ファイルを修正することはできません。

弊社担当者が[.ftppaccess]のファイル名を変更し、制限を無効化致しますので、

以下のメールフォーマットをご記入の上、弊社までご依頼下さい。

また、緊急対応をご希望の場合は、サービスセンタまで電話連絡も合わせてお願いします。

宛先：tech@omakase.jp

件名：「.ftppaccess」ファイル名変更依頼

メール本文：-----ここから-----

顧客(お客様)番号：####ご記入下さい####

ご契約ドメイン名：####ご記入下さい####

連絡先電話番号：####ご記入下さい####

「.ftppaccess」を設置したサーバ名：####ご記入下さい####

「.ftppaccess」を設置したディレクトリ：####ご記入下さい####

上記ディレクトリ設置「.ftppaccess」のファイル名変更を依頼します。

-----ここまで-----

■ アクセスカウンタの設置

◆ アクセスカウンタの機能

サイトを訪問された方のアクセス数を計るためのアクセスカウンタを標準で提供しております。アクセスカウンタの機能として、この他に、時刻表示、日時表示が可能です。

◆ アクセスカウンタ設置方法

カウンタを表示させたいページ(HTML ファイル)内に、特定のフォーマットに沿った IMG タグを記述します。

```






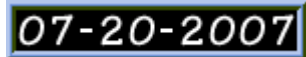






```

※表示の都合上、途中で改行しておりますが、改行する必要はありません、

太文字は、個別に設定を行って頂く必要がある部分となります。各設定項目部分については下記の通りです。

アクセスカウンタ設定	
設定項目	内容
df (ドメイン名)	お客様のご利用頂いているドメイン名をご記入下さい。省略することは出来ません。
md (カウンタ桁数)	カウンタの桁数を、5桁～10桁まで指定が可能です。
dd (デザインスタイル)	A～Eの5種類があります。省略するとデザインAになります。
st (カウント初期値)	カウンタの初期値を指定下さい。省略すると1になります。 この初期値は初回ご利用時のみ有効となります。

アクセスカウンタのデザインスタイルは、AからEの5種類用意しております。お客様サイトデザインに沿ってご利用下さい。

アクセスカウンタデザインスタイル			
デザインスタイル	カウンタ	時刻	日時
dd=A			
dd=B			
dd=C			
dd=D			
dd=E	0008357	12:49P	07-20-2007

例えば、[http://www.example.co.jp/]にて Web サービスをご利用頂いている場合、カウンタ桁数は、7桁、デザインはA、カウント初期値として1024とする際の記述方法は下記のようになります。

```

```

※表示の都合上、途中で改行しておりますが、改行する必要はありません、

サーバでは大文字/小文字を異なる文字として認識します。[count.cgi]ではなく、Cを大文字にして[Count.cgi]と記述して下さい。

◆ 日付/時刻表示の方法

アクセスカウンタにて日付、時刻を表示させることが可能です。なお、どちらもリアルタイムに時間が変わっていく機能はなく、アクセスした日時となります。デザインスタイル以外、個別設定はありません。

```
時刻表示 : 
日付表示 : 
```

◆ アクセスカウンタ利用上の注意

アクセスカウンタは、Web サービスに付属する標準サービスとなります。弊社サービス/サーバ以外ではご利用頂けません。また不具合などについては免責とさせて頂いております。ご了承下さい。

アクセスカウンタ、時刻表示、日時表示は1契約につき1つご利用頂くことが出来ます。複数ページにアクセスカウンタを表示させたい場合は、フリーCGIサービスをご利用頂き、お客様独自のアクセスカウンタを設置して下さい。また、アクセス解析として利用される場合には、より高度な利用状況が把握出来るログ分析サービスをご検討下さい。

アクセスカウンタは、直前のアクセス元IPアドレスを記録し、多重カウントを防ぐ仕様となります。このため、連続してリロードしてもカウントアップされません。

アクセスカウンタはreferrer (アクセス参照元情報)を確認しております。訪問された方のセキュリティ設定、WWWブラウザの設定によっては、アクセスカウンタが正常に動作、表示致しません。この場合、カウンタ数値は[88888888]のようになります。

■ CGI(Perl)の動作環境

● CGIのご利用について

Web サービスでは、CGI は一部を除き、ご利用頂くことは出来ません。メールフォームをご希望の際には、メールフォームサービスを、掲示板をご希望の際は、掲示板サービスを、お客様の独自に CGI を設置されたい場合には、フリーCGI サービスをご利用下さい。

● メールフォームサービス

訪問された方に対して、フォームに入力した資料請求やアンケートなどの結果を、メールで送信する仕組みをメールフォームと呼びます。

メールフォームサービスは、お客様が設置されたメールフォーム用 CGI に対して、実行権限を付与するサービスとなります。

メールフォームサービス仕様	
CGI スクリプト拡張子	.cgi .pl
設置可能ディレクトリ	/web/cgi-bin/ ※ディレクトリが存在しない場合は新規設置して下さい。
実行権限	700/705/755 など
設置可能 CGI 数	最大 5 つまで

サーバコマンドパス		
コマンド	サーバパス	バージョン
Perl	/usr/bin/perl	5.8.5
Sendmail	/usr/sbin/sendmail	8.13

メールフォームサービスでは、CGI スクリプトをお客様側でご用意頂く必要があります。また、メールフォームサービスでは、サーバ上にデータを保存するような CGI をご利用頂くことは出来ませんのでご留意下さい。

メールフォームサービスをご希望の際は、下記の内容を申請して頂くのみとなります。登録料、月額費用は発生致しません。

メールフォームサービス申請フォーマット	
宛先	info@omakase.jp または FAX(03-5304-8162)
必要情報	顧客(お客様)番号/ご利用ドメイン名 CGI を設置されたサーバパス CGI にアクセスするための関連 URL 設置された CGI の動作内容